【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成16年12月16日(2004.12.16)

【公開番号】特開2003-222930(P2003-222930A)
【公開日】平成15年8月8日(2003.8.8)
【出願番号】特願2002-20384(P2002-20384)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０３Ｂ　11/04
　Ｈ０４Ｎ　 5/225
【ＦＩ】
　Ｇ０３Ｂ　11/04　　Ｂ
　Ｈ０４Ｎ　 5/225　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月25日(2003.12.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮影光学系を有する撮像装置であって、
前記撮影光学系の前面を開閉するバリア部材と、
初期位置から第1の方向に回転することにより前記バリア部材を開動作させ、前記初期位置から第2の方向に回転することにより前記バリア部材を閉動作させる撮像カバーと、
前記撮像カバーを初期位置に復帰させる付勢部材と、を有することを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記撮像カバーは、前記撮影光学系の回りを回転することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
前記撮像カバーは、前記撮影光学系が取り込む光束の光路を形成する開口部を有することを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記撮像カバーを手動操作により前記第1または第2の方向に回転操作させた後、前記手動操作を解除すると、前記付勢部材は前記撮像カバーを前記初期位置に復帰させることを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記バリア部材を開及び閉の少なくともいずれか一方の方向に付勢する第2の付勢部材を有することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記撮像カバーが所定位置まで前記第1の方向に回転することに応答して、前記バリア部材を前記撮像カバーとは独立して開位置に移動させる第2の付勢部材を有することを特徴とする請求項５に記載の撮像装置。
【請求項７】
前記撮像カバーが所定位置まで前記第2の方向に回転することに応答して、前記バリア部材を前記撮像カバーとは独立して閉位置に移動させる第2の付勢部材を有することを特徴とする請求項５に記載の撮像装置。

【請求項８】
前記撮像カバーは略円形であり、該円形の中央部を中心に回転することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項９】
前記撮像カバーは、前記初期位置にてファインダ光路を塞がないようにする開口部を有することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項１０】
前記撮像カバーは、前記初期位置にてストロボ発光部を塞がないようにする開口部を有することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項１１】
前記撮像カバーが前記第1の方向に回転することにより前記撮像装置を起動状態とするアルゴリズムを有することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項１２】
前記アルゴリズムは前記撮像カバーが前記第1の方向に回転し、前記バリア部材が開状態となることにより前記撮像装置を起動状態とすることを特徴とする請求項１１に記載の撮像装置。
【請求項１３】
前記アルゴリズムは前記撮像装置が起動状態となった状態で前記撮像カバーが前記第1に方向に回転することにより動作モードを切り換えることを特徴とする請求項１１に記載の撮像装置。
【請求項１４】
前記動作モードは、撮影モードと再生モードであることを特徴とする請求項１３に記載の撮像装置。
【請求項１５】
前記アルゴリズムは、前記撮像装置が起動状態となった状態で前記撮像カバーが前記第1の方向に回転するごとに応答して異なるモードに順次切り換えることを特徴とする請求項１１に記載の撮像装置。
【請求項１６】
前記アルゴリズムは、前記撮像装置が起動後、省電モードとなった状態で前記撮像カバーが前記第1の方向に回転することに応答して前記省電モードを解除することを特徴とする請求項１１に記載の撮像装置。
【請求項１７】
前記撮像カバーが前記第2の方向に回転することにより前記撮像装置を電源オフ状態とする切り換え部材を更に有することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項１８】
前記切り換え部材は、前記撮像カバーが回転し、前記バリア部材が閉状態となることにより前記撮像装置を電源オフ状態とすることを特徴とする請求項１７に記載の撮像装置。
【請求項１９】
撮影光学系を有する撮像装置であって、
前記撮影光学系の前面を開閉するバリア部材と、
初期位置から第1の方向に回転することにより前記バリア部材を開動作させ、前記初期位置から第2の方向に回転することにより前記バリア部材を閉動作させる撮像カバーと、
前記撮像カバーが前記第1の方向に回転することにより前記撮像装置を起動状態とする切り換え部材と、を有し、
該切り換え部材は、前記撮像装置が起動状態となった状態で前記撮像カバーが前記第1の方向に回転するごとに応答して異なる動作モードに順次切り換えることを特徴とする撮像装置。
【請求項２０】
前記動作モードは、撮影モード、再生モードであることを特徴とする請求項１９に記載の撮像装置。

【請求項２１】
前記切り換え部材は、前記撮像カバーが前記第2に方向に回転することにより前記撮像装置を電源オフ状態とすることを特徴とする請求項１９に記載の撮像装置。
【請求項２２】
前記切り換え部材は、前記撮像カバーが前記初期位置から前記第1の方向に回転するごとに応答して前記異なる動作モードに順次切り換えることを特徴とする請求項１９に記載の撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
本発明の撮像装置は、撮影光学系を有する撮像装置であって、前記撮影光学系の前面を開閉するバリア部材と、初期位置から第1の方向に回転することにより前記バリア部材を開動作させ、前記初期位置から第2の方向に回転することにより前記バリア部材を閉動作させる撮像カバーと、前記撮像カバーを初期位置に復帰させる付勢部材と、を有することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーは、前記撮影光学系の回りを回転することを特徴とする。
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーは、前記撮影光学系が取り込む光束の光路を形成する開口部を有することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーを手動操作により前記第1または第2の方向に回転操作させた後、前記手動操作を解除すると、前記付勢部材は前記撮像カバーを前記初期位置に復帰させることを特徴とする。
また、本発明の撮像装置において、前記バリア部材を開及び閉の少なくともいずれか一方の方向に付勢する第2の付勢部材を有することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーが所定位置まで前記第1の方向に回転することに応答して、前記バリア部材を前記撮像カバーとは独立して開位置に移動させる第2の付勢部材を有することを特徴とする。
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーが所定位置まで前記第2の方向に回転

することに応答して、前記バリア部材を前記撮像カバーとは独立して閉位置に移動させる第2の付勢部材を有することを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーは略円形であり、該円形の中央部を中心に回転することを特徴とする。
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーは、前記初期位置にてファインダ光路を塞がないようにする開口部を有することを特徴とする。
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーは、前記初期位置にてストロボ発光部を塞がないようにする開口部を有することを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーが前記第1の方向に回転することにより前記撮像装置を起動状態とするアルゴリズムを有することを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、本発明の撮像装置において、前記アルゴリズムは前記撮像カバーが前記第1の方向に回転し、前記バリア部材が開状態となることにより前記撮像装置を起動状態とすることを特徴とする。
また、本発明の撮像装置において、前記アルゴリズムは前記撮像装置が起動状態となった状態で前記撮像カバーが前記第1に方向に回転することにより動作モードを切り換えることを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、本発明の撮像装置において、前記動作モードは、撮影モードと再生モードであることを特徴とする。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
また、本発明の撮像装置において、前記アルゴリズムは、前記撮像装置が起動状態となった状態で前記撮像カバーが前記第1の方向に回転するごとに応答して異なるモードに順次

切り換えることを特徴とする。
また、本発明の撮像装置において、前記アルゴリズムは、前記撮像装置が起動後、省電モードとなった状態で前記撮像カバーが前記第1の方向に回転することに応答して前記省電モードを解除することを特徴とする。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、本発明の撮像装置において、前記撮像カバーが前記第2の方向に回転することにより前記撮像装置を電源オフ状態とする切り換え部材を更に有することを特徴とする。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
また、本発明の撮像装置において、前記切り換え部材は、前記撮像カバーが回転し、前記バリア部材が閉状態となることにより前記撮像装置を電源オフ状態とすることを特徴とする。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
また、本発明の撮像装置は、撮影光学系を有する撮像装置であって、前記撮影光学系の前面を開閉するバリア部材と、初期位置から第1の方向に回転することにより前記バリア部材を開動作させ、前記初期位置から第2の方向に回転することにより前記バリア部材を閉動作させる撮像カバーと、前記撮像カバーが前記第1の方向に回転することにより前記撮像装置を起動状態とする切り換え部材と、を有し、該切り換え部材は、前記撮像装置が起動状態となった状態で前記撮像カバーが前記第1の方向に回転するごとに応答して異なる動作モードに順次切り換えることを特徴とする。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
また、本発明の撮像装置において、前記動作モードは、撮影モード、再生モードであることを特徴とする。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
また、本発明の撮像装置において、前記切り換え部材は、前記撮像カバーが前記第2に方向に回転することにより前記撮像装置を電源オフ状態とすることを特徴とする。

また、本発明の撮像装置において、前記切り換え部材は、前記撮像カバーが前記初期位置から前記第1の方向に回転するごとに応答して前記異なる動作モードに順次切り換えることを特徴とする。